

令和 5 年 6 月 25 日現在

機関番号：12611

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2018～2022

課題番号：18K11893

研究課題名（和文）LGBTにまつわる困難・トラブルへの対応策集の作成

研究課題名（英文）Collection of solutions and actions for difficulties and troubles among LGBT people

研究代表者

石丸 径一郎（Ishimaru, Keiichiro）

お茶の水女子大学・基幹研究院・教授

研究者番号：30435721

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 2,000,000円

研究成果の概要（和文）：国内外の性的マイノリティに関する文献や資料を調査し、隣接分野における問題や対策についても収集した。LGBTの隣接分野でのトラブルとして、精神疾患や発達障害、女性同士の間関係のトラブルなどを取り上げ、それらに対する対策をまとめた。また、LGBTに関連する様々な問題を分類整理し、フォビアやメンタルケア、カミングアウトなどのトピックについてまとめた。さらに、大学生を対象にSNSを使用したメンタルヘルス介入の試験も行われた。研究成果は多岐にわたり、今後は統一的な形でまとめる課題が残されている。

研究成果の学術的意義や社会的意義

いわゆるLGBT理解増進法が制定・施行され、今後、具体的な実施計画が策定されていく。LGBTの支援や困難解決に関するノウハウはあまり蓄積がない。本研究の成果は、日本におけるLGBTの支援や困難解決の一助となり、時宜を得たものである。また、LGBTだけでなく、精神疾患、発達障害、民族的マイノリティ、障害者、女性などさまざまな社会的マイノリティに関連する課題解決にも波及効果が期待できる。

研究成果の概要（英文）：I conducted research on literature and resources related to sexual minorities both domestically and internationally, and also collected information on issues and difficulties in adjacent fields. Troubles in adjacent fields concerning LGBT were addressed, including mental disorders, developmental disabilities, and interpersonal relationship issues among women, and corresponding measures were summarized. Additionally, various issues related to LGBT were classified and organized, covering topics such as phobias, mental care, and coming out. Furthermore, a trial of mental health intervention using social networking services was conducted among university students. The research findings are diverse, and the task of summarizing them in a unified manner remains for the future.

研究分野：臨床心理学

キーワード：LGBT

1. 研究開始当初の背景

2015年にアメリカ合衆国全土において同性間での結婚が認められるという最高裁判決が下された。この前後より、日本でもLGBT(レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー)に関する話題がよく聞かれるようになった。日本でも、現在6つの地方自治体が、結婚と同等ではないが、同性パートナーシップを認定するようになっている。

電通ダイバーシティラボによる2015年の調査では、日本の人口に占めるLGBTの割合は7.6%であるという結果が出された。顧客の中に少なくないLGBTがいると認識した企業社会の動きは早く、同性カップル間で携帯電話の家族割引が適用されるようになったり、航空会社のマイレージを家族扱いで使用できるようになるといった対応が相次いだ。

LGBTが社会の中で可視化されるにつれ、これまで泣き寝入りしていた人々が声を上げることができるようになり、トラブルも相次いでいる。同性愛者であることを他の友人たちに暴露され、それが本人の自殺につながって裁判となっている一橋大学大学院生の事例、男性から女性への性同一性障害と診断されたものの、職場から女子トイレの使用を禁止されたことで裁判となっている経済産業省職員の事例、同様にMale-to-Female性同一性障害者がコナミスポーツクラブで女性更衣室使用を断られトラブルになった事例、埼玉県蕨市の市立小学校5年生の授業中に、男性教諭が「誰だオカマは？」などと発言し、LGBTである児童の保護者が学校に抗議した事例など、ニュース報道される事件が枚挙にいとまがない。

2. 研究の目的

人間の性別は、年齢とともに、社会の中では人を判断する上でもっとも根本的な情報のひとつである。近代社会は基本的に、性別は男と女の2種類であり、全員が異性愛者であるとの前提から成り立っている。このため、LGBTの存在が可視化されてくると、社会のあらゆる場面でトラブルや困難が生じてくる。トラブルの相手方は、おそらく、LGBTの人たちをひどい目に遭わせようと思ったわけではなく、知識の不足によるものが多いと考えられる。LGBTの人たちが置かれてきた抑圧の歴史がよく知られたり、LGBTに関する正確で深い知識が広まったりすることが重要であるが、一方でこれはすぐに実現されるようなことでもない。

LGBTの存在が社会に知られるようになっていく過渡期の中にあっても、なるべくトラブルや困難を減少させる試みが必要であろう。また、LGBTについての知識が十分に広まったとしても、LGBTの中にも多様性があり、いつでも同じ解決法ができたり、同じ扱いをすればトラブルがゼロになったりするわけでもない。

本研究では、LGBTに関連するトラブルや困難について、現代の日本で役立つような解決法・支援法をなるべく多く集め、分類整理してまとめることを目的とする。解決法・支援法は、法律的なものや医学的なものもありうるが、研究代表者の専門は臨床心理学であるため、心理・社会的なアプローチを主とする。現実社会でのトラブルや困難は、その性質や場面が多様である。そのため、解決法・支援法は応急処置的なものから専門的なものまでなるべく多くを集める。

3. 研究の方法

本研究では、LGBTに関連するトラブルや困難への対応策を、臨床心理学的・認知行動療法的な観点から集めたり、既存の文献から集めたり、現場からの聞き取りによって集めたりする。

現代の日本において役立つということを主眼として、できるだけ多くの対応策を集める。現場の多様なトラブルに対応できるよう、なるべく多彩な場面を想定する。

4．研究成果

国内外の性的マイノリティが抱えるに関する文献や資料を概観するとともに、隣接諸分野におけるトラブルやその対策についても情報を収集した。多様な情報を収集し整理することができたが、統一的な形でまとめることは今後の課題とされた。

1) LGBT の隣接諸分野での困難やトラブル

統合失調症や社交不安障害などの精神疾患、自閉スペクトラム症などの発達障害、また女性同士でのマウンティングなどのトラブルやその対策について情報収集し、いくつかの論文にまとめた。特に自閉スペクトラム症では、生物心理社会それぞれの側面からのジェンダーの観点が、カモフラージュの実行に大きく関わっていることがわかった。女性同士での人間関係の中でのトラブルについては、女性同士の場面と男女混合の場面での行動の差、自分が優位な立場にあることを示すマウンティング行動の発生状況や分類整理を行った。LGBT に関する困難への示唆をまとめることができた。また、大学生に対して Slack を用いたメンタルヘルス介入の無作為化比較試験を行い、SNS を使用した介入の可能性を検討した。

2) LGBT に関連する諸問題の分類整理

LGBT に関連する諸問題・困難と対応・方策を、さまざまな観点から分類整理した。フォビア、メンタルケア、LGBT かもしれない児童生徒、高齢の LGBT、カミングアウト、同性カップルの子育て、トラウマ・被害体験、性行動、異文化、認知行動療法の応用、アセクシュアルといったさまざまなトピックについて、まとめることができた。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計12件（うち査読付論文 9件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 9件）

1. 著者名 森 裕子・石丸 径一郎	4. 巻 23
2. 論文標題 マウンティングエピソードの収集とその分類：隠蔽された格付け争いと女性の傷つき	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 お茶の水女子大学心理臨床相談センター紀要	6. 最初と最後の頁 23-36
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 出水 友理亜・石丸 径一郎	4. 巻 23
2. 論文標題 自閉スペクトラム症の女性が行うカモフラージュ行動の傾向と動機に関する研究の現状と課題	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 お茶の水女子大学心理臨床相談センター紀要	6. 最初と最後の頁 37-44
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 森 裕子・柳川 耀・石丸 径一郎	4. 巻 22
2. 論文標題 改訂トランスジェンダー嫌悪尺度日本語版の作成とトランスジェンダー教育における当事者による授業の効果について：女子大学に通う学生を対象として	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 お茶の水女子大学心理臨床相談センター紀要	6. 最初と最後の頁 13-23
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 伊藤 颯姫・石丸 径一郎	4. 巻 22
2. 論文標題 統合失調症における病識の関連要因および心理教育に関する系統的レビュー	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 お茶の水女子大学心理臨床相談センター紀要	6. 最初と最後の頁 1-12
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 石丸 径一郎・針間 克己	4. 巻 49
2. 論文標題 性機能不全	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 精神科臨床評価マニュアル〔改定版〕（臨床精神医学 増刊号）	6. 最初と最後の頁 1428-47
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石丸 径一郎	4. 巻 21
2. 論文標題 カミングアウト・パッシング・アサーション：LGBTQ	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 臨床心理学	6. 最初と最後の頁 216-220
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木 彩音・石丸 径一郎	4. 巻 21
2. 論文標題 セクシュアル・マイノリティのアイデンティティは嫌悪感と揺らぎを経て形成されるのか：当事者の語り の質的分析	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 お茶の水女子大学心理臨床相談センター紀要	6. 最初と最後の頁 45-56
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 森 裕子・石丸 径一郎	4. 巻 21
2. 論文標題 日本の心理学関連分野における青年期の性行動に関する研究の動向と展望：青年期女性の性行動の特徴に 着目して	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 お茶の水女子大学心理臨床相談センター紀要	6. 最初と最後の頁 77-88
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 石丸 径一郎	4. 巻 17(2)
2. 論文標題 LGBTQとトラウマ・被害体験	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 トラウマティック・ストレス	6. 最初と最後の頁 55-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森裕子・石丸径一郎	4. 巻 20
2. 論文標題 男性の前での行動を女性たちはどのように評価しあうのか：平等主義志向性の高さと同性間のステレオタイプの偏見に着目して	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 お茶の水女子大学心理臨床相談センター紀要	6. 最初と最後の頁 13-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 菰田敦子・石丸径一郎	4. 巻 20
2. 論文標題 性分化疾患であるMRKH口キタンスキー症候群への心理的支援のあり方	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 お茶の水女子大学心理臨床相談センター紀要	6. 最初と最後の頁 75-86
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 森裕子・石丸径一郎	4. 巻 36(1)
2. 論文標題 女子会と合コンとで女性の行動は変わるのか：ジェンダー・アイデンティティの強さとの関連に着目して	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本性科学会雑誌	6. 最初と最後の頁 45-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計14件（うち招待講演 10件 / うち国際学会 1件）

1. 発表者名 石丸 径一郎
2. 発表標題 LGBTQと心理支援
3. 学会等名 日本心理臨床学会第40回大会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 石丸 径一郎
2. 発表標題 性別違和と社会
3. 学会等名 GID(性同一性障害)学会 第15回エキスパート研修会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 石丸 径一郎
2. 発表標題 LGBTQと認知行動療法
3. 学会等名 集団認知行動療法研究会 第12回学術総会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 石丸径一郎
2. 発表標題 性的マイノリティに対する支援
3. 学会等名 第37回千葉県母性衛生学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石丸径一郎
2. 発表標題 LGBT+の基本
3. 学会等名 地域科学研究会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石丸径一郎
2. 発表標題 LGBTQの基本
3. 学会等名 国立大学留学生指導担当研究協議会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石丸径一郎
2. 発表標題 トランスジェンダーと女子大学
3. 学会等名 全国国立大学学生指導担当副学長協議会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Komoda Atsuko & Keiichiro Ishimaru
2. 発表標題 Psychosocial characteristics and needs of people with Mayer- Rokitansky-Kuster- Hauser Syndrome (MRKH), disorders of sex development (DSDs) in Japan
3. 学会等名 the 24th World Congress of Sexology (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石丸径一郎
2. 発表標題 大学におけるLGBTQの理解と支援
3. 学会等名 全国学生相談研修会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 庄司悠花・石丸径一郎・針間克己
2. 発表標題 自閉症スペクトラム障害と性別違和はどのように併存しているのか：当事者たちの「自分史」に注目して
3. 学会等名 GID（性同一性障害）学会第21回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石丸径一郎
2. 発表標題 心理系学部・専攻における教育の実態と今後の展望
3. 学会等名 日本性科学会第38回学術集会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 石丸径一郎
2. 発表標題 LGBTs学生の支援
3. 学会等名 産業カウンセリング学会第23回大会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 森裕子・石丸径一郎
2. 発表標題 女子大学生の性別に関する認知と判断：男女平等主義志向性と自己・他者の行動評価に着目して
3. 学会等名 日本心理学会第82回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 孤田敦子・石丸径一郎
2. 発表標題 MRKHロキタンスキー症候群における心理的支援ニーズ
3. 学会等名 日本心理学会第82回大会
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計6件

1. 著者名 吉田 絵理子、針間 克己、金久保 祐介、久保田 希、坂井 雄貴、山下 洋充	4. 発行年 2022年
2. 出版社 南山堂	5. 総ページ数 193
3. 書名 医療者のためのLGBTQ講座	

1. 著者名 Masako Ishii-Kuntz, Guro Korsnes Kristensen, Priscilla Ringrose	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 252
3. 書名 Comparative Perspectives on Gender Equality in Japan and Norway: Same but Different?	

1. 著者名 下山 晴彦、佐藤 隆夫、本郷 一夫、石丸 径一郎	4. 発行年 2020年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 184
3. 書名 臨床心理学概論	

1. 著者名 日本健康心理学会・石丸径一郎 他	4. 発行年 2019年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 746
3. 書名 健康心理学事典	

1. 著者名 下山晴彦・伊藤絵美・黒田美保 他	4. 発行年 2019年
2. 出版社 文光堂	5. 総ページ数 877
3. 書名 公認心理師技法ガイド：臨床の場で役立つ実践のすべて	

1. 著者名 日本性科学会 他	4. 発行年 2018年
2. 出版社 金原出版	5. 総ページ数 448
3. 書名 セックス・セラピー入門	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------